



## ご挨拶

国際ロータリー第2600地区 2018-2019年度

ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区2018-2019年度ガバナーとして地区会員の皆様にご挨拶申し上げます。

本年度の国際ロータリーのバリー・ラシン会長はバハマの出身です。そして、堅実な中にも常に前向きな変化と前進を目指す方です。会長から出されたRIテーマは「BE THE INSPIRATION」(インスピレーションになろう)です。インスピレーションはインスパイア(感動させる、奮い立たせる)からくる言葉です。

“インスピレーションになろう”とは「ロータリアンは自らを鼓舞することにより、ロータリークラブ、地区RI事業を未来に向かって進化させるとともに、地域の人々を応援し多くの人々の鼓舞につながる活動をする人になろう」ということです。

ロータリアンが積極的にロータリー活動を行うためには、地区そしてクラブにおいてそれぞれに戦略計画を作成しそれを推進していくことが最も重要なことです。

ここで大切なことは、ロータリークラブとは、ロータリアンとは何なのか、目的は何なのかを今一度確認することだと思えます。

ロータリー活動の根幹は「職業奉仕」であることは言うまでもありません。日本ではどちらかという精神的なものあるいは倫理的なものとして各自に委ねており実践的な話をする機会はありません。四つのテストと共に具体的な方法論を協議することもロータリーの魅力に加えてもよいと思います。

また、RI会長はRIと各クラブがもっと身近に感じることが大切だといわれています。このことは、クラブ活動にとって非常に重要な意味合いを持ちます。

各ロータリークラブは国際ロータリー(RI)の直接の会員です。その間には地区は存在しません。

国際ロータリーへの加盟認証を受けたロータリークラブの目的は職業を通じ、また社会奉仕活動を通じ地域社会、地域経済に貢献し、国際ロータリーの推進する事業に参画し国際社会に奉仕、貢献することにあります。個人や地域団体では難しい世界に向けての奉仕、支援などに参画できることもロータリーの魅力にほかなりません。そして、国際ロータリーの事業である社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの推進・参加は国際ロータリーに直結した会員であるクラブの義務でもあります。

しかし各クラブが単独でインターアクト、ロータリーアクト、青少年交換、ポリオプラス、ロータリー平和活動などを行うことは現実的ではありません。

RIではクラブの会員数、クラブ数をもとに地勢学的要素も鑑み地区に分類しています。その地区内のクラブから会員を出し合い、地区単位でRI事業をクラブの責任において行えるようになってきました。したがって、各クラブでは少なくとも1名以上の会員を地区事業委員会の構成員として推薦し地区RI事業に参画する責務があります。私自身長きに渡り地区委員会活動に携わり、その楽しさと実りを実感しています。国際ロータリーでは地区を総括し支援するRIの役員としてガバナーを任命しています。ガバナーは新クラブ結成、地区委員長、委員の任命、予算執行などを委ねられていると同時にクラブ活動と地区事業委員会活動がRI行動目標に沿ってスムーズに実行できるように監理と支援を行う責任があります。

地区事業と呼ばれるものは地区内すべてのロータリークラブの参画のもとに行うものです。

地区として地域社会、国際社会の未来に向けて行動する1年でありたいと思います。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。